

研究課題名	MASH 関連肝細胞癌に対する肝移植後の再発・生存に影響を及ぼす代謝療法、免疫抑制療法および腫瘍生物学的因子に関する国際多施設共同後ろ向きコホート研究
研究期間	2026 年 9 月 29 日 ～ 2028 年 12 月 31 日
研究の対象	2010 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに、広島大学病院 消化器・移植外科（旧第二外科）で代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）を背景とする肝細胞癌に対して肝移植を受けられた 18 歳以上の方
研究の目的・方法	研究目的：代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）を背景とする肝細胞癌に対して肝移植を受けた方について、肝細胞癌の再発や生存に関連する因子を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、患者背景、肝細胞癌の状態、肝移植に関する情報、免疫抑制療法、代謝性疾患、移植後の経過など既存の診療情報を収集します。収集した情報は、個人を直接特定できないように加工した上で研究代表機関に提供し、他の参加施設から収集された情報と合わせて解析します。新たな検査や治療、採血などを行うことはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身体計測情報、病歴、血液検査結果、病理学的検査結果、画像検査結果、移植後経過に関する情報等 試料：使用しません 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
利用または提供を開始する予定日	2026 年 9 月 29 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	University of Zurich への情報提供は、パスワード設定したエクセルデータをメール送信によって行います。 この研究で得られた情報を、スイス連邦に所在する University of Zurich に提供します。スイス連邦における個人情報の保護に関する制度は、個人情報保護委員会の WEB ページをご覧ください。 https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku また University of Zurich では、同機関の規定に基づき情報を適切に管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学

	教授 大段秀樹 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究代表者 University of Zurich Department of Surgery and Transplantation Prof. Dr. med. Pierre-Alain Clavien 共同研究機関 別紙「共同研究機関一覧」参照
その他	特記事項ありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 消化器・移植外科 担当者：大平真裕 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5222

共同研究機関一覧

Asia-Pacific: The University of Hong Kong / Queen Mary Hospital (Hong Kong SAR); Dr. Rela Institute and Medical Centre, Chennai (India); Sir Ganga Ram Hospital, Delhi (India); Tokyo University Hospital (Japan); Nagasaki University (Japan); Hiroshima University (Japan); Nagoya University (Japan); Kyoto University (Japan); Kumamoto University (Japan); Samsung Medical Center, Seoul (Republic of Korea); National University Hospital / NUCOT (Singapore); Beijing Tsinghua Changgung Hospital, Beijing (China); Royal Prince Alfred Hospital, Sydney (Australia).

Europe: Erasmus MC, University Medical Center Rotterdam (Netherlands); University Hospital Tübingen (Germany); ASST Grande Ospedale Metropolitano Niguarda, Milan (Italy); Azienda Ospedaliero-Universitaria Città della Salute e della Scienza di Torino, Turin (Italy); San Camillo Forlanini Hospital – INMI Lazzaro Spallanzani IRCCS, Rome (Italy); Azienda Ospedaliero-Universitaria di Modena, Modena (Italy); Hospital Clínico Universitario Virgen de la Arrixaca, Murcia (Spain); Hospital Universitario Vall d'Hebron, Barcelona (Spain); Hospital Clínic de Barcelona (Spain); Addenbrooke's Hospital / University of Cambridge (United Kingdom); Medical University of Warsaw (Poland); Henri Mondor University Hospital (France); Beaujon Hospital Paris (France); University of Zurich (Switzerland, coordinating center).

Middle East: King Faisal Specialist Hospital & Research Centre, Riyadh (Saudi Arabia).

North America: University of Toronto / University Health Network, Ajmera Transplant Centre (Canada); Mayo Clinic, Rochester / Jacksonville / Phoenix (USA); University of Pennsylvania, Penn Medicine (USA); University of California, San Francisco (UCSF, USA); Mount Sinai, Recanati/Miller Transplantation Institute (USA); UT Southwestern Medical Center (USA); University of Chicago Medicine (USA); Washington University in St. Louis (USA), Columbia University Irving Medical Center (USA)

South America: Sao Paulo University School of Medicine (Brazil)